

交通政策審議会 航空分科会 技術・安全部会(第10回) 議事概要

日時：平成30年2月5日(月)14:00～15:30

場所：経済産業省別館 108 各省庁共用会議室

議事概要：

<議事(1)「航空機検査制度等検査小委員会(仮称)の設置について」に対する主なご意見・ご指摘>

- 労働組合の方をオブザーバーとして参加させることなどにより、実際に現場で働いている人の意見を聞くべき。
- 民間事業者の負担軽減に資する制度の見直しについて検討すべき。
- 小型航空機の関係者をオブザーバーとして参加させることなどにより、意見を聞くべき。
- 航空機検査制度等について、中小企業にも理解してもらうことが重要。経済産業省をオブザーバーとして参加させてはどうか。

<議事(2)「落下物対策の強化に向けた取組」に対する主なご意見・ご指摘>

- 航空機メーカーによる対応の強化も重要。
- 現在耐空性の概念に落下物対策は含まれていないが、下に住む人の安全性も重要。
- 落下物対策の重要性について、日本から世界に発信すべき。

<議事(3)「航空安全に係る最近の動きについて」に対する主なご意見・ご指摘>

- 操縦士・整備士の養成・確保に関しては、女性の活躍に向けた環境整備も進めるべき。
- 操縦士のみならず、将来的な整備士不足への対応に向けた取組も進めるべき。
- BASA について、欧米とも進めるべき。
- 女性の活躍に向けた対策の検討体制に女性の視点も加えるべき。

○操縦士・整備士の養成・確保に関しては、これらの職業の魅力を若い層に情報発信することが重要。

○無人航空機は Wi-Fi と同じ周波数帯の電波が使用されていることが多いことから、特にリスクの高いイベント上空の飛行に関しては電波干渉を可能な限り防ぐことも考慮すべきではないか。